



平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況(連結・個別)

平成 16 年 1 月 29 日

会 社 名 株式会社精工技研 (コード番号: 6834 登録銘柄)

(URL <http://www.seikoh-giken.co.jp>)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 上野 昌利

問い合わせ先 責任者役職名 経営企画室

氏 名 斎藤 祐司 (Tel: (047)388 - 6401)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- (1) 会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
(2) 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況(平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

当該四半期までの累計値 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

	当期 3 四半期累計値		前期 3 四半期累計値		(参考)
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	15 年 3 月期
	百万円	%	百万円	%	百万円
売上高	4,771	46.7	3,253	1.1	4,262
営業利益	1,515	327.7	354	32.1	277
経常利益	1,397	398.2	280	11.1	197
当期純利益	851	191.1	292	53.9	1,186

第 3 四半期の業績 (平成 15 年 10 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

	16 年 3 月期	第 3 四半期	15 年 3 月期	第 3 四半期
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率
	百万円	%	百万円	%
売上高	1,711	112.6	805	90.7
営業利益	647		122	
経常利益	603		171	
当期純利益	331		8	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〔経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期(平成15年4月1日から平成15年12月31日まで)までの累計の売上高は、主に記録用DVD金型が好調に推移して前年同期を上回り、4,771百万円(前年同期比46.7%増)となりました。

また、売上高の増加に伴って損益も改善し、営業利益は1,515百万円(前年同期比327.7%増)、経常利益は1,397百万円(前年同期比398.2%増)、当期純利益は851百万円(前年同期比191.2%増)となり、前年同期を大幅に上回る結果となりました。

(2) 部門別業績(連結)の概況

精機部門

精機部門においては、前期から需要の拡大が続いているDVD用金型に対する売上高が好調に推移しており、当第3四半期までの累計売上高は4,100百万円(前年同期比60.3%増)となりました。売上高の増加と原価低減によって損益も大きく改善し、累計の営業利益は1,794百万円(前年同期比116.1%増)と、前年同期の2倍以上となりました。

光製品部門

光製品部門においては、光通信網を最終ユーザーへと接続するメロ・アクセス系の需要が欧米において依然として停滞しております。これにより、当第3四半期までの光製品部門の累計売上高は671百万円(前年同期比3.4%減)となりました。また、たな卸資産の評価替えや中国の生産工場への生産移管等、各種の経営効率の改善努力によって前年同期と比較して損益状況は改善しているものの、当第3四半期までの累計の営業損失は279百万円(前年同期は営業損失476百万円)となっております。

部門別業績(連結)

		平成16年3月期 3四半期累計		平成15年3月期 3四半期累計		(参考) 15年3月期
		金額	対前期 増減率	金額	対前期 増減率	
精機部門	外部売上高	4,100	60.3	2,558	96.3	3,300
	セグメント間売上高			84	65.8	89
	売上高	4,100	60.3	2,642	70.6	3,389
	営業利益	1,794	116.1	830	134.8	970
光製品部門	光部品	411	7.5	382	71.3	578
	光部品製造機器	259	16.9	312	46.1	383
	売上高	671	3.4	695	63.7	962
	営業利益	279		476		693

(注)1. 平成16年3月期はセグメント間売上高を相殺消去した数値を記載しております。

2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 経営成績(個別)の進捗状況

当該四半期までの累計値 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

	当期 3 四半期累計値		前期 3 四半期累計値		(参考)
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率	15 年 3 月期
	百万円	%	百万円	%	百万円
売上高	4,814	46.7	3,173	4.2	4,262
営業利益	1,572	327.7	446	26.2	277
経常利益	1,456	398.2	372	5.7	197
当期純利益	908	191.1	381	50.9	1,186

第3四半期の業績 (平成 15 年 10 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

	16 年 3 月期	第 3 四半期	15 年 3 月期	第 3 四半期
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率
	百万円	%	百万円	%
売上高	1,714	152.80	678	75.0
営業利益	661		64	
経常利益	618		110	
当期純利益	346	583.2	50	

3. 平成 16 年 3 月期 業績予想(連結・個別)の修正

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 15 年 11 月 13 日付「平成 16 年 3 月期 中間決算短信(連結)」及び「平成 16 年 3 月期 個別中間財務諸表の概要」に記載いたしました平成 16 年 3 月期 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)の業績予想を以下のとおり修正いたします。

(1) 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,765	1,229	763
今回修正予想(B)	6,425	1,836	1,271
増減額(B - A)	660	607	508
増減率(%)	11.4%	49.4%	66.6%

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 137 円 36 銭

(業績予想に関する定性的情報等)

期初から立ち上がった記録用 DVD 金型に対する需要が、予想を超えて好調に推移しており、平成 15 年 11 月 13 日に発表した業績予想値を大幅に上回る見込みであります。また、売上の増加や製造原価の低減、各種の経費削減効果によって損益も大きく改善する見込みであります。

(2) 個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回修正予想 (A)	5,735	1,300	839
今回発表予想 (B)	6,414	1,901	1,337
増減額 (B - A)	679	601	498
増減率 (%)	11.8%	46.2%	59.4%

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 144円55銭

(注意事項)

当業績予想数値は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は記載の業績予想数値と異なる場合があることをあらかじめご承知おきください。

以上